

Ⅲ. 活動報告

平成21年度学術情報リポジトリ報告	18
大阪府立大学貴重図書専門部会講演会 「古典を愉しむー大阪府立大学所蔵資料をひもとくー」 実施報告	20
企画展「古典籍へのいざない 食は書籍に在り」 展観と講演 実施報告	21
平成21年度貴重図書展示報告	22
平成21年度図書館職員研修実施報告	25
平成21年度学生選書会議活動報告	26

平成 21 年度学術情報リポジトリ報告

1. 正式公開と CSI 事業の採択について

平成 20 年度の国の CSI 事業に採択された本学のリポジトリ構築事業であるが、平成 20 年度にはリポジトリ運営委員会を中心に運用指針を定め、リポジトリシステムの構築を行い、平成 21 年 3 月には試験公開を行った。

平成 21 年 4 月 1 日に「大阪府立大学学術情報リポジトリ」（愛称＝OPERA）を正式公開した。これは札幌市立医科大学とともに、全国の公立大学初のリポジトリ公開となった。

また、平成 21 年度も国の CSI 事業に採択され、コンテンツ収集、規程の改正、広報等、積極的な活動を展開した。

2. コンテンツの充実整備について

本学紀要について、平成 21 年 6 月の部局長連絡会議において「紀要論文の『大阪府立大学学術情報リポジトリ』登録にかかる協力をお願い」の文書により、各部局に協力を依頼した。学部長、紀要編集委員へ、今後刊行される紀要のリポジトリ登録制度化についての説明と依頼を個別に行った。その結果、既発行紀要の一括許諾を認めた学部もあり、今後のコンテンツ充実につながる成果を得た。

学位論文については、平成 21 年 6 月の部局長連絡会議において「学位論文の『大阪府立大学学術情報リポジトリ』登録にかかる協力をお願い」の文書により各部局に協力を依頼し、学位申請書類に「大阪府立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録同意書」および学位論文の電子データを加えることとした。

コンテンツの遡及登録のため、平成 20 年度に作成した本学紀要のタイトル別著作者リストをもとに、著作者の連絡先調査を行い、連絡先の判明した著作者に対し、「大阪府立大学学術情報リポジトリ登録申請書」（以下、登録申請書）と各著作者の論文リストを送付した。並行して、登録申請書の提出のあった論文について電子ファイル作成を行った。これらは順次リポジトリに登録する予定である。

平成 21 年 4 月 1 日に施行した「大阪府立大学学術情報リポジトリ運用指針」については、リポジトリ運営委員会でコンテンツ収集への協力と著作者としての登録の権利とを明確にし、収集対象物、登録対象物についての定義を加えるなどの改正を行い、図書館委員会で承認を得、平成 22 年 4 月 1 日改訂施行した。

3. リポジトリの学内外への広報活動について

平成 21 年 11 月に大阪府立大学学術情報リポジトリ広報リーフレットを作成した。コンテンツ登録の手順等を詳しく掲載した学内向けと、リポジトリの概要、アクセス方法、コンテンツの特徴などをわかりやすくコンパクトにまとめた学外向けの 2 種類を作成した。学内向けは著作権許諾依頼の際に、現職教員、退職教員に登録申請書と共に送付した。学外向けは、広く学外からのアクセスを促す目的で、大阪府内図書館等関係機関に配布した。

12 月には東北学院大学 佐藤義則教授による講演会「機関リポジトリの活用と学術コミュニケーション」を開催した。教職員、図書館職員など 60 名の参加があった。佐藤教授は、大学図書館

研究の第一人者であり、機関リポジトリの利用統計、コスト分析のほか、図書館評価、情報利用行動について研究されている。講演では、機関リポジトリとは何か、背景にある流れは何かという概説から、最新のオープンアクセス運動の状況まで、幅広い内容を丁寧に講演していただいた。講演後には3キャンパス間で活発な質疑応答が行われ、教職員それぞれにとって興味深い、有意義な講演会になった。佐藤教授には講演会参加者によるアンケートに記された質問事項についても後日回答していただき、リポジトリ運営委員、図書館職員間で知識を共有することができた。



リポジトリ講演会の様子



リポジトリ広報リーフレット(左:学内用、右:学外用)

4. リポジトリシステムのカスタマイズについて

リポジトリ運営委員会から要望のあった、言語切替機能とPDFカバーページ挿入機能を導入した。言語切替機能により、リポジトリのページを英語表示することが可能になった。PDFカバーページはコンテンツのPDFの表紙(カバー)としてコンテンツの書誌事項を記載するもので、コンテンツが大阪府立大学学術情報リポジトリからダウンロードされたことを示すものであり、これらの機能を追加したことにより、アクセス促進につながると思われる。

5. まとめ

リポジトリ構築は今後の大学運営に必須であること、また教員の研究支援体制を充実させる上でも必要であるという学内合意のもと、コンテンツの整備、広報活動を行ったことは今年度の大きな成果である。次年度以降は、コンテンツのより一層の充実に向け、引き続き学内へコンテンツ提供を呼びかけるとともに、今後予定している教員活動情報データベースとの連携により、継続的にコンテンツを収集できる仕組みを構築することが課題と考えられる。

大阪府立大学貴重図書専門部会講演会

「古典を愉しむ - 大阪府立大学所蔵資料をひもとく -」 実施報告

大阪府立大学が所蔵する数多くの貴重図書について、学内の利用者だけでなく府民の方々にも知っていただくため、大阪府立大学貴重図書専門部会は3回連続の講演会を開催した。府民の方々が講演会に参加しやすいよう、中之島サテライトを会場にして各回とも19時～20時の時間帯で開催し、のべ75名の参加があった。

中之島サテライトを会場とした公開講座は、学術情報課としては初めての試みであったが、この連続講演会は大学の公開講座のひとつとして位置づけられ、広報や申込受付などはエクステンションセンターや大学広報担当者とも連携して行った。

各回ともに熱心な参加者が集まり、本学所蔵の貴重図書の成り立ちや、それぞれのコレクションの特徴などについて、活発な質問や感想が交わされ、活気ある連続講演会となった。

<第1回> 平成21年11月18日(水)

「蔵書の形成をめぐる」

講師：西田正宏准教授

「貴重書とは？」から始まり、本学所蔵貴重図書が出版史や文化史のなかでもつ意味や、「山田文庫」、「山崎文庫」、「瀧村文庫」等について、それぞれの由来や内容を蔵書印(蔵書票)を見ながら説明していただき、本学の貴重書の全体像を概観することができた。

<第2回> 平成21年 11月20日(金)

「源氏物語の絵入本について」

講師：青木賜鶴子准教授

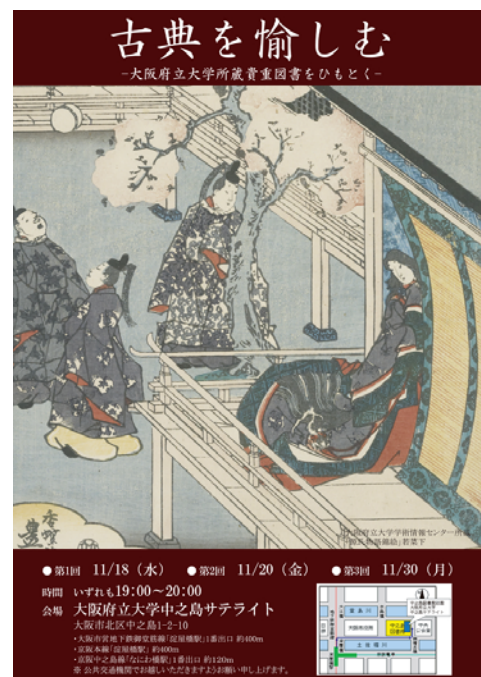
本学所蔵の源氏物語関係の絵入版本十数点を見ながら、それぞれの特徴や変遷について説明していただいた。同じ場面でも描かれ方が本によって異なっている点や、共通点等についても詳しく説明していただいた。

<第3回> 平成21年11月30日(月)

「ドレミとイロハ 瀧村文庫音楽関係資料について」

講師：山東功准教授

本学所蔵貴重書の「瀧村文庫」の音楽関係資料をもとにして、明治期日本において、音楽教育に力を尽くした人々(伊澤修二、瀧村小太郎)について、また日本の近代化(=西洋文化の受容)のための装置として音楽(唱歌)が機能したこと等説明していただいた。



企画展「古典籍へのいざない 食は書籍に在り」展観と講演 実施報告

学術情報センター図書館では、平成17年度より、企画展「古典籍へのいざない」と題して、展観と講演会を開催している。平成21年（2009年）は、「食は書籍に在り」をテーマに、学術情報センター図書館で同時に開催されていたテーマ展示「食べるを学ぼう」と関連した内容の企画で下記のとおり実施した。

展観では、「食は書籍に在り」のテーマで本学貴重図書から14点を展示した。多くの入館者が、テーマ展示「食べるを学ぼう」とともに鑑賞され、興味深く展示ケースを覗き込まれていた。

また10月29日には講演会「現代の食と農を考える」（講師：北村禎三氏）を開催し、主に大阪、特に泉州地域の食に対しての講演をしていただいた。学内外から約50名の方が参加され、活発な質疑応答もあり、参加者の食に対する関心の高さが伺えた。講演参加者のアンケート回答からも「わかりやすく大変興味深かった」という感想を数多くいただき、好評であった。

記

1. 展観

日 時：平成21年9月28日～12月28日

午前9時～午後8時

（土・日は午前10時～午後4時）

場 所：学術情報センター図書館1階カウンター前
ロビー

配布資料：展観図書紹介

2. 講演

日 時：平成21年10月29日 午後3時～5時

場 所：学術情報センター図書館1階 視聴覚室

講 師：北村禎三氏（本学元教員）

「現代の食と農を考える」

配布資料：講師によるレジュメ

参加人数：50名

3. 展示資料

本学所蔵関連貴重図書

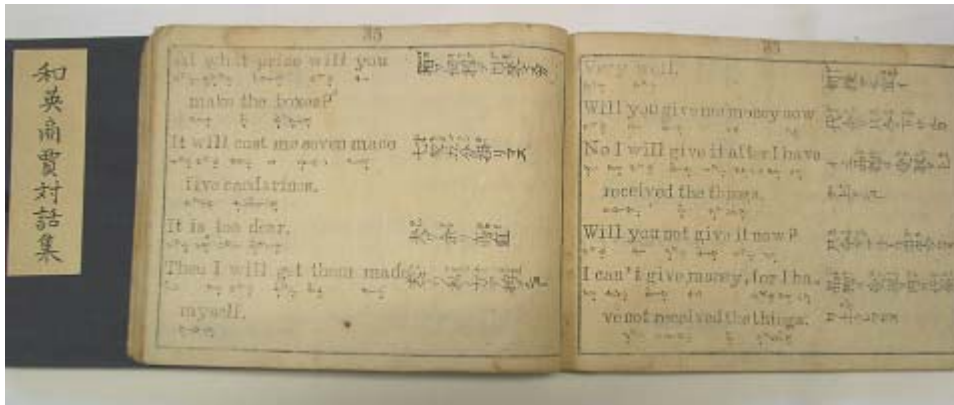


平成 21 年度貴重図書展示報告

学術情報センター図書館では、平成 21 年度も図書館 1 階カウンター前で貴重図書の展示を実施した。当館所蔵の貴重図書の展示紹介のほかに、住吉大社御文庫から借用した資料の展示、紹介など、6 回にわたっての企画内容も変化に富み、利用者からも好評を得ることができた。

「外国語事始一幕末・明治のまなびと遊び」 平成 21 年 2 月～5 月

- ① ウイルソン氏リードル双伍呂久 一枚 明治一八年（1885）十一月
岡本光訳 岡本信閲 松斎吟光画
- ② 英和単語図解 二枚 明治二〇年（1887）四月 大倉四郎兵衛画
- ③ Japanese Fairy Tale Series（日本昔噺）縮緬本
「No. 3 Battle of the monkey and crab（猿蟹合戦）」
「No. 4 The old man who made the dead blossom（花咲翁）」
「No. 6 The mouse's wedding（鼠の嫁入）」
「No. 8 Urashima, the fisher-boy（浦島）」
- ④ 扇面単語図解 一枚 明治六年（1873）六月 楮紙扇面 銅版
- ⑤ 西洋国字はうた 初編 刊一冊 明治五年（1872）一月序 山兄堂晋水撰 朝香楼芳春画
- ⑥ 絵入英語箋階梯 刊一冊 慶応三年（1867）阿部喜任著 服部雪斎画
- ⑦ ドーデモ英和字彙 刊一冊 明治一八年（1885）十月 礪川喜望戯著
- ⑧ 蘭学重宝記 刊一冊 嘉永三年（1850）賀樹麻呂著
- ⑨ 和英商賈対話集 初編 刊一冊 安政六年（1859）刊 本木昌造著 長崎筑後町塩田幸八刊行



- ⑩ 孝和袖珍字書 刊一冊 明治五年（1872）小田條次郎・藤井三郎・桜井勇作編
- ⑪ 法朗西単語篇 刊一冊 慶応二年（1866）開成所篇
- ⑫ 英米対話捷徑 刊一冊 安政六年（1859）九月 中濱万次郎訳
- ⑬ 和英通韻以呂波便覧 慶応四年（1868）三月序 卷菱湖（卷大任）・阿蘭陀人
（コンシユルフロエンド）書 尚友堂主人校 土佐 海援隊蔵版
- ⑭ 増訂華英通語 刊二冊 万延元年（1860）八月 子卿原著 福沢諭吉訳
- ⑮ 和英語林集成 刊一冊 慶応三年（1867）J. C. Hepburn 編
- ⑯ 英和対訳辞書 刊一冊 明治五年（1872）荒井郁編 開拓史版

「住吉大社御文庫の世界（続々）前期」平成21年7月

講談日露戦争記 神田伯龍講演 / 丸山平次郎速記 / 中川玉成堂

- ① 第一編 明治37年3月14日
- ② 第二編 明治37年4月8日
- ③ 第三編 明治37年4月23日
- ④ 第四編 軍神広瀬中佐 明治37年5月13日
- ⑤ 第五編 九連城大激戦 明治37年6月1日
- ⑥ 第六編 金州大激戦 明治37年7月5日
- ⑦ 第七編 得利寺大激戦 明治37年8月1日
- ⑧ 第八編 順大激戦 明治37年9月5日

「絵でみる古典」平成21年8月

- ① 繪入竹取物語
- ② 繪入伊勢物語
- ③ 源氏大和繪鑑 刊二冊 享保二年（1685）刊
- ④ 繪本つれづれ草
- ⑤ 道成寺縁起繪巻 写二卷
- ⑥ はちかづき 写三冊
- ⑦ デカメロン ボッカチオ
- ⑧ 神曲 ダンテ
- ⑨ 魯敏遜漂行記略（ロビンソンクルーソー）翻訳〔複製〕
- ⑩ Momotaro（桃太郎）縮緬本
- ⑪ 繪入英語箋階梯
- ⑫ 和英商賈對話
- ⑬ 英語図解
- ⑭ 改正増補 英和対訳袖珍辞書



「住吉大社御文庫の世界（続々）後期」平成21年9月

講談日露戦争記 神田伯龍講演 丸山平次郎速記 中川玉成堂

- ⑨ 第九編 遼陽占領 明治37年10月5日
- ⑩ 第十編 遼陽大決戦 明治37年10月12日
- ⑪ 第十一編 沙河大会戦 明治37年11月15日
- ⑫ 第十二編 旅順包圍攻撃 明治37年12月10日
- ⑬ 第十三編 旅順陥落 明治38年1月28日
- ⑭ 第十四編 金州大激戦 明治38年3月1日
- ⑮ 第十五編 得利寺大激戦 明治38年5月22日
- ⑯ 賀騒動高田善蔵/古名弁山講演・耳津珂吉速記・駸々堂 明治39年3月5日再版発行
- ⑰ 義賊真壁大助/松林東慶講演・山田都一郎速記・大阪島之内同盟館 明治31年4月23日
- ⑱ 桂派落語選/松廼家主人編・登美屋書店（大阪）・文楽堂書店（東京）明治44年4月25日

「《展観と講演》食は書籍に在り」平成21年9月～12月

- ① 五節句飾之巻 巻一写
- ② 新撰趣向帳 大一刊
- ③ 當流節用料理大全 大一刊 正徳四年（1714）
- ④ 浪華の家つと 横一刊 天保七年（1836）
- ⑤ 御菓子雛形 横一写
- ⑥ 料理切形秘伝抄 横三刊
- ⑦ 諸国名産大根料理秘伝抄 半二刊 寛政七年（1795）補刻
- ⑧ 素人包丁 横一刊 文政三年（1820）
- ⑨ 日本山海名物図絵 大五刊 寛政九年（1797）後刷
- ⑩ 農家専要増益百姓往来 半一刊
- ⑪ 絵図食物本草 [飲食大全] 民国五年（1916）
- ⑫ 食礼口訣 横一刊
- ⑬ 食事戒 中一刊
- ⑭ 和歌食物本草 半一刊 元禄七年（1694）
- ⑮ 女教大全姫文庫 安永五年（1776）（*人間社会学部 山中浩之教授より借用）



「歳時記 “春”」平成22年1月～3月

- ① 和漢三才図会 四：時候 大八一刊 正徳三年（1713）寺島良安編
- ② 風月往来 大一刊 松会刊
- ③ 大和名所図会 巻二 大七刊 寛政三年（1791）
秋里舜福湘夕著 春朝斎竹原信繁画
- ④ 拾遺都名所図会 大七刊 天明七年（1787）
秋里舜福湘夕著 春朝斎竹原信繁画
- ⑤ 住吉名勝図会 大五刊 寛政六年（1794）
秋里舜福湘夕著 岡田玉山画
- ⑥ 京の水 大二刊 秋里舜福湘夕編 下河辺拾水図画
- ⑦ 増補江戸年中行事 中一刊 江戸鶴屋喜右衛門板
- ⑧ 日本歳時記 巻一 大三刊 貞享五年（1688）
貝原好古編
- ⑨ 安永四年暦乙未暦 半一刊 江戸小川屋七左衛門開板
- ⑩ 源氏飛双六 一鋪写
- ⑪ 新版画合源氏双六 大一鋪刊 一陽斎豊国画



平成21年度図書館職員研修実施報告

第1回 学内資料を知ろう-3：本学所蔵の貴重図書について

講 師 人間社会学部教授 山中浩之教授

開催日 平成21年9月11日（金）

場 所 学術情報センター中会議室、貴重書庫

参加者 21名

内 容 本学所蔵の貴重図書の構成、その内容、利用実態について学んだ。貴重書庫を見学し、実際に貴重図書を見ながら、資料の保存方法、貴重図書の取扱い、利用者へのサービス提供方法について指導を受けた。

第2回 「機関リポジトリの活用と学術コミュニケーション」（講演会）

講 師 東北学院大学文学部 佐藤義則教授

開催日 平成21年12月10日（木）

場 所 学術情報センター視聴覚室、
羽曳野キャンパス、りんくうキャンパス（遠隔中継）

参加者 本学参加者 56名、
学外参加者 6名

* 大学図書館近畿イニシアティブ、DRF(Digital Repository Federation)への公開研修。

内 容 講師は、大学図書館研究者の第一人者であり、機関リポジトリの利用統計、コスト分析、図書館評価、情報利用行動について研究されている。講演では、機関リポジトリとは何か、背景にある流れは何かという概説から、最新のオープンアクセス運動の状況まで、幅広い内容を丁寧に講演していただいた。講演後には3キャンパス間で活発な質疑応答が行われ、参加者それぞれにとって興味深い、有意義な講演会となった。



第3回 「情報リテラシー教育」で魅力的な図書館に！

講 師 植田彩子副主査（人間社会学部図書室）

開催日 平成22年1月26日（火）

場 所 学術情報センター視聴覚室

内 容 平成21年度NII主催の「学術情報リテラシー教育担当者研修」を受講した植田副主査を講師とし、研修内容を職員間で共有し、実習、ディスカッションを行い、図書館組織全体の学術情報リテラシー教育サービスの向上を図った。

平成 21 年度学生選書会議 活動報告

学生選書会議は、大阪府立大学後援会の寄付金を有効に利用して、学生の参画による選書をおこない、学生のニーズに基づく図書資料の収集・充実をはかり、大学図書館の利活用・運営の向上をめざして平成 17 年度より実施している事業です。

平成 21 年度より、りんくうキャンパスでも学生選書会議を開始し、3 キャンパスで開催しています。

(中百舌鳥キャンパス)

委員募集 期間：平成 21 年 6 月 1 日(月)～6 月 30 日(火)

ポスター掲示やチラシ配布のほか、図書館ホームページ、学生ポータル、WEBSC に案内を掲載して募集し、学生・院生あわせて 16 名の委員を選出した。

委員決定通知の際に、進行役の立候補を募り、第 1 回会議の前にアドバイザースタッフと打ち合わせをおこなった。

第 1 回会議 平成 21 年 8 月 11 日(火)

選書会議や推薦図書の情報収集の方法について説明し、進行役となった学生が中心となって選書方針や選書方法について話し合った。

昨年度購入を決定した雑誌の継続、および新規購読雑誌を決定し、残りの金額を各委員の持分として推薦する資料の金額を決定した。

書店訪問 平成 21 年 9 月 15 日(火)

りんくうキャンパスと合同でジュンク堂書店大阪本店を訪問し、約 2 時間選書をおこなった。自由参加で、参加者は 7 名。

広報会議 平成 21 年 10 月 19 日(月)

広報計画について選書委員で検討した結果、冊子、しおり、ポスター、POP の 4 つの広報物を作成することとなり、学生選書委員のうち 5 名を広報戦略委員として別の委員会を立ち上げた。

第 2 回選書会議 平成 21 年 11 月 16 日(月)

書店訪問で選んだ図書を含む各委員が作成した推薦リストをもとに、購入する資料を選定した。

広報戦略委員会で決定した事項を連絡し、4 つの広報物の作成依頼と冊子に掲載する編集後記の執筆を依頼した。

最終購入点数

図書：507 冊

雑誌(2010 年購読)：11 種

テーマ展示 『FUDAI BOOK MARK』

期間：平成 22 年 2 月 1 日(月)～4 月 23 日(金)

冊数：507 冊

配布：冊子（各委員の感想やおすすめ図書などを掲載）

レイアウト：学生選書委員作成の POP を展示台に配置した。

広報：ポスター掲示のほか、図書館ホームページ、学生ポータル、WEBSC に案内を掲載し広報した。

期間中貸出冊数： 1,244 冊



中百舌鳥キャンパスでのテーマ展示『FUDAI BOOK MARK』

（りんくうキャンパス）

委員募集 期間：平成 21 年 6 月 1 日(月)～6 月 30 日(火)

ポスター掲示やチラシ配布にて募集し、3 名の委員を選出した。

第 1 回会議 平成 21 年 8 月 18 日(火)

選書会議や推薦図書の情報収集の方法について説明し、学生が中心となって選書方針や選書方法について話し合った。各委員の持分として推薦する資料の金額を決定した。

書店訪問 平成 21 年 9 月 15 日(火)

中百舌鳥キャンパスと合同でジュンク堂書店大阪本店を訪問し、約 2 時間選書をおこなった。自由参加で、参加者は 2 名。

第 2 回選書会議 平成 21 年 11 月 16 日(月)

書店訪問で選んだ図書を含む各委員が作成した推薦リストをもとに購入する資料を選定した。

最終購入点数

図書：53 冊

テーマ展示

期間：平成 22 年 1 月 14 日(月)～3 月 31 日(水)

冊数：53 冊

レイアウト：図書室作成の POP を飾りつけ、特設コーナーを作成した。

期間中貸出冊数： 42 冊



りんくうキャンパスでの学生選書展示

(羽曳野キャンパス)

委員募集 期間：平成 21 年 5 月 25 日(月)～6 月 30 日(火)

ポスター掲示・チラシ配布のほか、羽曳野図書センターホームページに案内を掲載して募集し、学生・院生計 6 名の委員を選出した。

第 1 回選書会議 平成 21 年 8 月 8 日(土)

学生選書会議の趣旨や推薦図書の情報収集方法などについて職員から説明を行った後、司会進行役を決定した。司会進行役を中心に、選書方針や一人当たりの予算、今後のスケジュールなどについて話し合った。

書店訪問 平成 21 年 10 月 3 日(土)

ジュンク堂書店大阪本店を訪問し、約 2 時間をかけて選書を行った。参加者は 5 名。

第 2 回選書会議 平成 21 年 11 月 14 日(土)

書店訪問で選定した図書と各委員が推薦した図書リストから、購入する資料を選定した。また、広報についても検討し、昨年度と同様に小冊子を作成するほか、新たに POP も作成することになった。POP については、第 2 回選書会議中に作成し、広報誌「図書センターNews」に掲載する『学生選書委員のコレはお薦め！』の記事執筆を依頼した。

最終購入点数

図書：165 冊

特別展示 『プレリリース学生選書』

期間：平成 21 年 12 月 1 日(火)～12 月 28 日(月)

冊数：82 冊

学生選書委員から推薦のあった図書のうち、すでに所蔵している図書を展示した。

特別展示 『学生選書バージョン UP』

期間：平成 22 年 1 月 4 日(月)～1 月 30 日(土)

冊数：165 冊

ポスターを掲示して、小冊子や POP とともに展示し、羽曳野図書センターホームページや広報誌「図書センターNews」に案内を掲載して広報した。



羽曳野キャンパスでの特別展示『学生選書バージョン UP』